

- 宇宙産業ビジョン2030(2017.5)にて「宇宙産業基盤の維持・強化に資するため人的基盤を総合的に強化する」必要性が謳われ、また、経産省において「宇宙産業分野における人的基盤強化のための検討会」(2017年度)、「宇宙ベンチャーの人材確保に関する検討会」(2022年度)も実施
- 宇宙基本計画(2023.6)においても、将来の宇宙分野の発展を支える次世代人材の育成、人材基盤の強化について明記。内閣府「我が国のロケット開発等人材基盤を強化するスキル標準の作成に関する検討会」(2024.7~)も始動



スペースサイエンスタウン構想(2015-2024)「宇宙開発に携わる人材育成拠点に」

- ◆ 2015.4~町内に立地する県立楠集中高一貫教育校での宇宙学への支援実績
- ◆ 2017.1~鹿児島大学(理工学研究科)連携協定、2019.9~鹿児島ハイブリッドロケット(TeamKROX: 鹿児島大学、第一工大及び県内企業による)打ち上げ支援実績。
- ◆ 2023.4~宇宙のまちづくり推進課を新設
- ◆ 2024年度 宇宙産業に係る人材育成に関する協定書を締結 6月 千葉工業大学、11月 九州工業大学、2月 和歌山大学



第一工科大学

2学部5学科を有する南九州唯一の理系私立大学。キャンパスは地理的に県中心の霧島市国分に位置。「社会が求める人材の育成」を使命とし、「パイロット」・「航空宇宙工学」・「航空整備工学」をはじめ、「ICT・AI・データサイエンス」「環境エネルギー対策」等、新たに求められる知識や技術にも対応した教育に積極的に取り組んでいる。現代の時代のニーズに応えられるプロツッフェッショナルを育てるため、2021年4月に校名を「第一工業大学」から「第一工科大学」へと改名。更に、2026年4月に鹿児島中央キャンパスを開校し、AI・データサイエンス研究教育分野の強化、同時に宇宙工学分野(特に衛星データの利活用、ドローン及び同取得画像の利活用)強化を通じ、県内外に必要とされる航空宇宙分野への高度専門人材育成を図る。



連携協定締結

双方の強み・実績を持ち寄り、連携協力協定のもと、以下を検討し、試行・実践



旧岸良小学校
(学生・企業共創拠点に整備予定)
異大学・企業との交流も期待
→大学の宇宙研究の拠点にも

- 情報データサイエンス(衛星データ)を活用した防災・地域課題の解決に向けた活動・試行
- 教育用ロケット共同実験場(岸良海岸)の運営支援
- 県内企業との共同研究に係る肝付町内での活動検討・施行[官・民・学連携]
- 学生の肝付町内での活動検討・試行[燃焼試験、打上げ等]支援
- 肝付町内の幼小中学校等への出前講座[宇宙教室、宇宙分野以外]
- 第一工科大学イベント、子ども航空教室などへの肝付町内小学生・中学生の参加
- ドローン関連技術・情報提供(農家等へドローン操縦・農薬散布技術支援、ドローンで撮影した広範囲、高精度の画像情報解析結果を町、農家等へ提供し、地域振興に一助とする。更に、ドローンを活用した防災分野での協力も行う。



岸良海岸
教育用ロケット共同実験場の射点

若年層発の交流人口増による人材育成・地域振興(まちづくり)を!

肝付町で育成された人材が航空宇宙関連企業・研究機関に就職するスキームの確立

航空宇宙産業の中核で支える高度技術者(研究・開発、設計)・技能者(製造、試験)の育成に貢献

肝付町の期待する効果

- ・自治体+企業+アカデミアの「官・民・学」による連携交流人口の増加
- ・県内宇宙教育の拠点的役割
- ・町内小中校生の宇宙、理科系科目全般への興味の醸成